

富山大学 国際機構「日本語プログラム」上級クラス

授業科目名	日本文化C1
担当教員	中河 和子 (NAKAGAWA, Kazuko)
開講学期曜限	前期（春期）・木曜日 4 時限
対象	【総合日本語コース】日本語日本文化研修留学生、協定校からの交換留学生 【日本語課外補講】全学の外国人留学生、外国人研究者
単位数	単位は出ません。総合日本語コースでは国際機構長名で履修証明書（成績記載）を発行します。
授業のねらい	留学生として、日本社会を出来るだけ分析的に観察する試み（情報の読み取り・整理など）を、いろいろなメディア media（インターネット、TV番組、アニメ、漫画、新聞・雑誌記事、自治体広報など）を用いてする。日本社会を読み解くのに役立つ身の回りのリソース resource をまだ活用しきれていない留学生に、それを活用する手立てを与える。さらに、そこから得たものを日本語で情報発信する力を養成する。現代日本社会を観察する手立てとして、学生の興味もはかりながら、『日本の若者』『日本の技術－環境問題－』『ジェンダーについて』等を取り上げる。学期中に6回、日本人学生とテーマについて対話を行い、異文化理解とコミュニケーションのスキル skill をお互い高め合う。
達成目標	1つのテーマをなるべく多角的に捉え、日本社会に対してすでに持っている知識や、自文化への固定的な見方を洗い直してみる。日本語の訓練としては、自身の述べたいことをまとめた談話として構成する力を養う。
授業計画 (授業の形式、スケジュール等)	1週目：オリエンテーション、本授業で扱う「文化」について ＊取り上げるテーマ、順序は学生の興味などにより多少変動がある。 ＊学期中に3回、日本人学生とテーマについて対話をを行う。 2～3週目：「人権と差別」 4～6週目：「日本の若者」 7～8週目：「サブカルチャー（アニメ、漫画など）」 9～11週目：「日本の技術－環境問題など」 12～14週目：「自文化をふりかえる」 15週目：「まとめ」
授業時間外学修 (事前・事後学修)	常日頃、日本の社会問題に関する新聞記事や TV ニュースに関心を持ち、視聴するようにしてください。 授業で学んだことを、必ず復習してください。
キーワード	中上級日本語 現代日本事情 文化リテラシー
受講上の注意	
教科書・参考書等	使用しません。毎回プリント等を配布します。
成績評価の方法	授業への参加度:30%、レポート:30%、発表:40% (欠席が多い場合は評価対象外とします。) *日本語課外補講は成績評価を行いません。出席回数、試験の点数を記録します。
関連科目	
備考	